

# いわて平泉米だより

令和8年8月号



## 稲刈りに向けた準備をしましょう

ここ数年、猛暑が影響し、全国各地で水稻の刈り取り適期が早まっており、準備が整わないまま刈り取りシーズンに入ってしまう事例が見受けられます。今年も、昨年並みに生育が早まることが予想されるため、早めに農業機械のメンテナンスを実施しましょう。特に部品交換をする場合、取り寄せに時間がかかることがあります。また、個人で乾燥調整を行う生産者は、乾燥調整設備の掃除をお願いします。稼働していない間にたまったほこりや虫などの異物が調整の際に混入し、出荷した後に返品対象となる場合がありますので、十分注意しましょう。

## 早期落水に注意

早期の落水は、玄米が充実せず腹白米の増加や玄米千粒重の低下、強制登熟による胴割粒発生などの原因となります。落水時期は以下を目安にしてください。

- 排水が悪い水田…………… 出穂後30～35日ごろ
- 排水が良い水田…………… 出穂後35～40日ごろ

## あぜみち相談会

今年度のあぜみち相談会が終了しました。全4回にわたって、たくさんの方にご参加いただきました。多くの質問や意見などが飛び交い、有意義な相談会となりました。来年も開催しますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。